

【高の原幼稚園の機能終了について】

高の原幼稚園については、定員320名に対して本年5月1日現在の園児数は92人、充足率は28.8%となっており、平成27年度の子ども・子育て支援新制度が始まって以降、平成28年度の172人をピークに減少を続けています。次年度の児童数についても、更に減少する見込みとなっています。

このような状況の中、園児が集団生活を営むための一定の規模の維持が見込めなくなることは、園児の集団生活での遊びや体験の機会が乏しくなる恐れもあることから、小規模化の進行を見据えた幼児教育の再編整備が必要であり、本計画での機能終了対象園として素案を作成したものです。

【適正な集団規模について】

学校教育法に基づく幼稚園設置基準では、1学級35人以下と定められており、本市では幼稚園規則において、3歳児20人、4、5歳児では35人と定めております。

適正規模について、文部科学省の「幼児集団の形成過程と協同性の育ちに関する研究」（平成25年）では、幼稚園においては「個に応じた援助」を行いながら、集団の形成過程を大切に、「協同性の育ち」を培うためには、1学級に、3歳児でも20人前後、4、5歳児は21人以上30人くらいの集団が適切だと考えられると言われています。

本市においても、規則で定める定員の3歳児20人、4、5歳児35人が適正規模と考えることから、今後の更なる公立幼稚園の園児数減少を見据えて、公立幼稚園3園を2園に再編する素案を作成したものです。

（参考：園児数の推移と令和4年度見込み）

園名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 (見込み)	前年 対比
木津	237	238	207	156	157	158	133	▲25
相楽	105	125	111	94	95	75	72	▲3
高の原	172	167	148	148	134	92	68	▲24
合計	514	530	466	398	386	325	273	▲52

※令和4年度の各園の園児数は10月の入園申込状況による見込み数であり、転園・入園辞退等により増減するため、確定した数値ではありません。